

住みよいまちづくり情報誌

Vol.45

平成30年3月26日

発行 住みよいまちづくり新莊会
 (水戸市新莊市民センター内)
 (〒310-0036) 水戸市新莊2-11-2
 Tel.029-221-7851

責任者 住みよいまちづくり新莊会
 会長 川又 一郎

編集 新莊会広報部
 印刷 常磐総合印刷株式会社
 題字・坂 俊治

ときめき新莊

新莊学区の常住人口	世帯数 3,050	年齢別人口	0～14才 545 (9.1%)	15～64才 3,382 (56.4%)
男 2,852 女 3,144 合計 5,996	(平成30年2月1日現在)		65才以上 2,069 (34.5%)	(平成30年2月1日現在)



市民サロンでのバザー

三月四日(日)、新莊市民センターにおいて「新莊ふれあいまつり」が開催され、暖かい晴天のなか、延八百人の地域の皆様に参加しました。ホールにおいて開会式に続



き利用団体十三の発表会が行われ、小会議室では指圧体験教室、和室では石州・裏千家茶道、市民サロンではバザー、駐車場・調理室において十品目の模擬店販売が行われました。

最後に、ホールにおいてバザーなどの収益金贈呈式が行われ、社会福祉協議会新莊支部に寄贈されました。また、お楽しみ抽選会では満場のなか、特別賞から十等賞までの数多くの賞品が当選者に渡り、盛り上がりの中のうちに閉会となりました。



ホールでのお楽しみ抽選会

第二十二回 水戸市民の集い・交通安全市民大会開催

二月二十三日(金)、県民文化センター小ホールにおいて水戸市民の集いがあり、次の方々を受賞されました。

◎永年勤続町内会長・自治会長ほう賞

◆二十勤続

江橋 信彦(常磐小路)

川村 和雄(砂久保町一区)

◆十五年勤続

仙波 正之(常磐町二丁目北)

◆十年勤続

鈴木 進(栄町2丁目)

五十嵐富雄(八幡町14)

長谷川 武(寿町一区)

安斎 誠一(緑町一区)

◎市民憲章ほう賞

〈善行賞〉(歩道等の清掃作業)

小網 昇(末広町1丁目)



善行賞 小網 昇さん



20年勤続 江橋信彦さん

新莊ふれあいまつり

発表会等の一部紹介



ダンススポーツ



フォークダンス



コーラス



和宝会(連吟・仕舞)



童謡



メネフニ&バカラナ(フラダンス)



歌の花クラブ(合唱)



太極拳



邦楽研究会



裏千家茶道



模擬店(エコクラブ参加の焼きそば)



模擬店(肉まん・あんまん)



ビンゴゲームを楽しむ参加者の皆さん

一月六日(土)午後、新莊市民センターホールにおいて、新莊地区の合同新年会が行われました。本新年会は、新莊会主催のもと新莊地区の各自治会団体役員等が合同で行っているものです。市長はじめ来賓のあいさつのもと、ビンゴゲームで会場いっぱい盛り上がりました。今年は、一般の方も増え例年を越える七十四名もの多くの方が参加し、大変賑やかな新年会となりました。

平成三十年
新莊地区合同
新年会

新莊小学校防災訓練

十一月八日(水)、新莊小学校児童の防災訓練がアリーナ(体育館)及び校舎前において実施されました。

この防災訓練は、児童の防災対応能力を高めるため毎年実施されており、避難訓練、炊き出し体験実習、防災講話等を実施しております。

特に、炊き出し体験実習は、アリーナで児童が班毎分かれて炊飯袋を製作し、これを支援要員が校庭での大型ガス釜で炊き出すもので、今年で四回目となります。引き続き新莊会、新莊女性の会が支援に

あたりでしたが、班によっては児童上級生が自主的に炊飯袋のグループ作業を進めており、大変練度が向上しています。



上級生が積極的に炊飯袋を制作する様子

新莊地区福祉講演会

認知症を克服するための第一歩

一月二十九日(月)、新莊市民センターホールにおいて、三十名が参加し、遊びながら認知症について学びました。「認知症456(すごろく)ゲーム」を、中央高齢者支援センターの指導員のもと体験・実習しました。このゲームは、サイコロを回してコマを進めながら認知症の症状を疑似体験していくものです。水戸市が昨年四月に制作し普及を図っており、全国でも評判になっています。参加者からは、体や頭の活性化につながり好

評でした。詳しくは中央高齢者支援センター(電話:30619582)にお尋ねください。



認知症456(すごろく)ゲームの体験・実習

新莊地区防災研修会

東京消防庁・本所防災館災害体験ツアーに参加して

十一月二十八日(火)、東京消防庁本所防災館(墨田区横川)で、四十二人が参加し防災シアターや、煙体験・地震体験コーナー等を研修しました。

防災シアターでは主に都市直下型地震をテーマに迫力ある映像を視聴し、災害の恐ろしさを体感しました。いつで

もマグニチュード7クラスの地震は発生する状況にあることを再認識し、そのためには家屋等の耐震化、家具類の転倒防止対策など、様々な防災対策が急がれていることを実感しました。

煙体験コーナーでは、火災に至る過程や、火災による中性帯(建物内に出る煙の境目)の煙の中を避難する方法を体験しました。地震体験コーナーでは、震度七の地震を体験し、そのための基本的な避難方法を体験しました。私達は日頃、できることか

ら今直ぐにでも災害に備えることが重要だと感じました。研修後は、皇居外苑の楠公レストランで昼食をとって一休み、帰路につきました。



中性帯煙での避難体験

歩く会 新莊地区歩く会 秋の水戸路を歩く



弘道館正門にて

十一月十九日(日)、新莊地区歩く会が、さわやかな秋晴れのもと、スポレク部計画により八幡宮・那珂川及び旧水戸城下において実施されました。参加者は救護・昼食支援者を含め六十人で、登り下りのある約八キロのコースを九時から二時間半を掛け歩きました。

コースは、新莊市民センター出発後、八幡宮を参拝。その後、那珂川堤防を約二キロ歩きました。途中、万代橋通過後水分補給し、水府橋を過ぎ、旧城下に至る杉山坂を上りました。坂上の二中わき見晴らし台から那珂川方面を眺望、その後二の丸展示館を見学、弘道館正面で記念撮影し、紅葉の弘道館公園、三の丸跡を通り、五〇号線を一気に歩き新莊市民センターに到着しました。到着後はスポレク部女性の献立・配食によりボリューム満点の美味しいカレーライス、サラダ、及び浅漬けを頂きました。

かなり早いペースでしたが、一人の落伍者もなく終了することができました。歩数は約一万一千歩(男子)でした。

新莊散策

砂久保稲荷神社

・別雷皇太神分社
・管理・運営：向井町二区町内会

新莊一丁目にある砂久保稲荷神社を紹介いたします。この神社は、国道五十号線を東原方面に進み、大工町二丁目交差点を右折して進むと、次の交差点の角に有ります。

○由緒

創建は、延享四年（西暦一七四七年）九月一日で、第一五代天皇桜町天皇、江戸幕府徳川吉宗・家重の時代です。

この神社は、当時、このあたりに光学院という別当修験（社僧の長の地位にある修験者（山伏・修験道の行者））があり、この別当修験が矢倉方の御用金具師岡野金左衛門という地元有力者と計り、氏神として建立した私祭社です。



元旦祭 砂久保稲荷神社全景

信仰の神は、日本神話の「古事記」に登場する宇迦之御魂神（うかのみたまのみみ）で、「日本書紀」では倉稲魂命と表記します。穀物の神で、古くから女神とされ、稲荷神（お稲荷さん）として広く信仰されています。最初は天満宮と稲荷明神を合祀したらしく、当時は、商売繁盛、子育て稲荷として近隣の参拝者が多く、特に水商売の方に信仰されておりました。

私祭社とはいえ、徳川時代刊行された神社便覧にも砂窪稲荷として載っており、当時はかなり立派な社殿があったと推測されます。明治十四年には、神社明載帳に登載されています。

○昭和期以降の変遷

昭和二年八月には、大改修を行い、現在の駐車場を含む境内には、本殿と拝殿、大鳥居、三対の石灯笼等が整備され、また、不動尊も鎮座され、周囲は土手や杉木立、大榎、モミの大木等に囲まれておりました。

しかし、昭和二十年八月一日、米軍大空襲により全てを焼失してしまいました。

昭和二十一年一月、神社再建のため専売公社水戸地方局、構内鎮座の社殿の寄進を受け、笠間稲荷神社より分霊を迎え、以来祭神として祭っています。

そして平成二十二年十一月、神社の老朽化に伴い、向井町二区町内会諸氏の尽力により本殿の新築、境内の整備がなされ、現在の神社が完成しました。

○管理、運営等

砂久保稲荷神社の管理、運営等は当初、同神社の周辺六ヶ町が行っていたようです。しかし、年月とともにたずさわった者も居なくなり、現在では、元山町にある別雷皇太神の分社として、同神社の所在する向井町二区町内会が管理・運営を行っております。

祭事は同町内会が執り行い、一月一日元旦祭を行っております。二月初午の日には別雷皇太神宮司の支援を受けて初午祭を行っております。

○町内会活動

向井町二区町内会では、通常の活動の他に、砂久保稲荷神社の管理、運営が、町内会の和を支え、保つ大きな柱となっており、これが他の町内会と異なる特色となっております。



初午祭 別雷皇太神による御祓い

新莊スホレク部主催 ユニカール大会で和気あいあい

二月十一日（日）の午前、今年度二回目のユニカール大会が市民センターホールにおいて実施されました。四十五名が参加し、一チーム三名の十三チームにより一チーム二、四試合の和気あいあいゲームを楽しみました。

今回、賞杯「はかまつか杯」が更新され、新しい参加者も増えております。

《結果》

優勝 塙・丹尾親子チーム

二位 山部・伯耆田・高木チーム

三位 龍崎・袴塚◎・寺門チーム



ユニカール大会決勝戦



平成二十九年 度

新莊地区敬老会

九月十八日（月）、新莊地区敬老会が快晴のもと、新莊市民センターホールにおいて行われました。

招待者一七九人中四四二人が出席し、式典では市長はじめ

ご来賓の方々に祝辞を頂きました。アトラクションでは、はまゆう会による民舞、友美会による太鼓おどり、民謡が行われ、楽しく終えることができました。



はまゆう会 民舞



友美会 民謡

編集部委員 川又健志・塩井雅子・神尾和子